



神奈川東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2015-2016年度 第43週報 No. 1932 2016年(平成28年) 5月27日 第1932回 例会記録 6月3日発行

本日〈6月3日〉のプログラム

- ◆斉唱 「君が代」「奉仕の理想」
- ◆献立 平目のムニエル
- ◆卓話 「歯周病と全身の関わり」

神奈川歯科大学附属横浜クリニック 副院長
田村 利行 様
(紹介者 西山 潔 会員)

<< 本日のBGM >>

アルバム「オールディーズ ベストヒット16」より



PHOTO 小池将夫会員

司会 山本 芳弘 前々年度幹事

点鐘 江森 国一 会長

斉唱 「それこそロータリー」

四つのテスト 山本 芳弘 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

ゲスト紹介 石原 明子 様 (ゲストスピーカー)

ビジター紹介 横浜北RC 森田 俣弘 様
大阪西南RC 藤田 浩二 様

会長報告 江森 国一 会長

- ・5月度定例理事会報告
- ・台北滬尾RCより訪日のお礼状が届いておりますので、回覧します。

幹事報告 山本 芳弘 前々年度幹事

- ・本日、ロータリー手帳を希望者のボックスへ配布しておりますので、ご確認お願い致します。なお、予備が少しございます。注文をされていない方で必要な方がおりましたら事務局まで申し出下さい。
- ・次年度各委員会委員長の方へご連絡です。「クラブ活動計画書」の提出の締め切りが本日となっております。次年度のガバナー補佐の公式訪問日が8月19日と、例年に比べて早い時期となっておりますので、早急に事務局まで提出をお願い致します。
- ・地区より2014~15年度年次報告書が届いておりますので回覧します。

2015-2016年度 RI会長 K.R.“ラビ”ラビンドラン



世界へのプレゼントになろう

第2590地区 ガバナー 箕田 敏彦

会 長 江森 国一	会 計 渡邊 淳
会長エレクト 植田 清司	副 会 計 白井 康夫
副 会 長 矢野 修二	S A A 長井 章
副 会 長 加藤 仁昭	副 S A A 白鳥 厚夫
幹 事 朝日 達夫	副 S A A 澁谷 高弘
副 幹 事 小山 市康	クラブ会報 田中 龍太郎

例会日 毎週金曜日 0:30~1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
例会場 ホテルキャメロットジャパン
URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

事務局 ホテルキャメロットジャパン内
〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
創立記念日 昭和51年5月29日

出席報告

中野 真理 出席委員長

会員総数	52名	(31+21)名	
出席会員数	25名	(15+10)名	
出席率	60.98%		
ゲスト	1名	ビジター	2名
前回補正後	94.00%	前々回補正後	95.92%

スマイルボックス

長井 章 SAA

横浜北RC 森田俣弘様 本日はお世話になります。

江森国一君 創立40周年記念式典・祝賀会では、吉田実行委員長はじめ、会員の皆様のご協力のおかげで盛会のうちに無事終わりました。ありがとうございました。

石川正三君 皆様、本当にご苦労様でした。

岩澤利雄君 40周年記念行事、大成功でおめでとうございます。

吉田実行委員長以下、皆様の努力の結果でスマートな会でした。

伊東英紀君 先日の40周年記念式典、お疲れ様でした。

加藤仁昭君 40周年記念式典・祝賀会、皆様のご協力により大成功だったと思います。ありがとうございました。

飯田泰之君 40周年記念式典では、担当会員の皆様、ご苦労様でした。

西山 潔君 ①40周年記念式典・祝賀会、皆様お疲れ様でした。

②石原様、本日の卓話、宜しくお願ひ致します。

金森欣一君 40周年の式典が無事に終わり良かったですね。式典の前にマレーシアの会長を植田さんがランドマークに連れてきて下さったり、4年前に伺った七ヶ浜RCの皆さんと久しぶりに交流出来たりと、楽しい一日でした。

澁谷高弘君 非常に完成度の高い40周年、会員諸兄のご協力に感謝申し上げます。また、入会30年の記念の品、ありがとうございました。

長井 章君 40周年記念式典、お疲れ様でした。

5月27日	11件	42,000円
本年度累計		1,784,813円

「70億人の期待と、たった一つの地球

～One Planet Lifestyle～

WWF ジャパン 広報室長 石原 明子 様

(紹介者 江森 国一 会員)

世界の人口は現在70億人を超え、2040年には90億人を超えるとして予測されています。私たちの生活は豊かな生態系からの恩恵で成り立っています。その恩恵は衣食住にとどまらず、レクリエーションなど私たちの健康で幸せな生活を支えています。

一方、当たり前のことですが、地球は一つしかなく、その自然資源には限りがあります。はたしてその自然資源は、90億の人々が幸せに暮らせるに十分なほど25年後も豊かでしょうか？

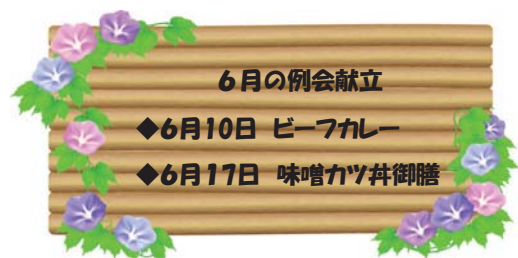
WWFでは、人類による資源や環境の過剰な利用、それに伴う



生き物の生息地の消失や気候変動などによる環境への影響を二つの指標で示しています。そして、豊かな自然を将来世代につなげるために現代に生活する私たちが出来ることをご紹介しています。

指標の一つは、「生きている地球指数」です。これは、地球上の生物の多様性の豊かさを示すものです。2014年に発表されたレポートでは、1970年から2010年までの40年間に、自然の豊かさが52%低下していることがわかりました。もう一つの指標は、人間活動がもたらしている環境への負荷を示した「エコロジカル・フットプリント」です。この指標は人類の消費の規模が、地球が本来持っている生産力や廃棄物の収容力をすでに50%超えてしまっていることを示しています。つまり、今の人類のライフスタイルを維持するためには地球「1.5個分」に相当する資源が必要なのです。

将来世代も私たちと同じように豊かな生活を続けるには、この私たちの生活が環境に与えている負荷を軽減する必要があります。WWFでは、持続可能な社会づくりに向けて、FSCやRSPOなどのエコラベルの推進、自然エネルギーの推進など、世の中の仕組みを変えるべく活動しています。昨年、横浜市と環境面での連携協定を結び、ともに持続可能な社会づくりをめざして活動しているところです。横浜市在住の皆様には今後お目にかかる機会が増えることと思います。神奈川東ロータリークラブの皆様には、これを機会にお力添えをいただきたく、今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。

**次回〈6月10日〉の予定**

テーマ 「今後の経済展望」

第一生命経済研究所 主任エコノミスト 藤代 宏一 様

(紹介者 江森 国一 会員)